

06全事研第1号  
令和6年4月1日

各都道府県教育委員会教育長 様  
全国市区町村教育委員会教育長 様  
全国公立小・中・義務教育・中等教育・特別支援学校長 様  
教 育 関 係 者 様

全国公立小中学校事務職員研究会  
会 長 前 田 雄 仁

## 第56回全国公立小中学校事務研究大会 (本部主管)の開催について(依頼)

陽春の候、貴職におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃から本会の研究活動に対しまして、御理解と御協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、第56回全国公立小中学校事務研究大会を開催要項のとおり、埼玉県さいたま市において現地参集及びオンラインを併用したハイブリッド形式にて開催することになりました。

つきましては、この研究大会を盛大かつ実りのあるものにしたいと存じますので、貴所属職員の参加につきまして、格段の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

※申込方法等の詳細につきましては、令和6年5月中旬ごろ、改めてお知らせいたします。

学校事務のミッション－子どもの豊かな育ちを支援する－  
第56回全国公立小中学校事務研究大会（本部主管）

開催要項

- 1 大会テーマ 「子どもの豊かな育ちを支援する学校事務」  
―校務運営参画の道を切り拓く事務職員の学びと実践―
- 2 目 的 Society5.0による大きな変化の時代を迎えようとしていた社会は、新型コロナウイルス感染症の拡大をきっかけに予想よりも早く想像もしていなかったような形へと変化した。その変化は学校にも働き方改革の推進や情報化の進展など影響を与えた。それらの課題解決に対し、事務職員は専門性を発揮し、事務をつかさどる役割を果たすことへの期待が高まっている。しかしながら、その期待に十分に答えられているとは言い難い状況がある。  
本会は、第4期学校事務のグランドデザインを公表し、改めて学校事務のミッション・ビジョンを示し、その実現のための実行策となる第10次研究中期計画に基づき具体的な事務職員・共同学校事務室の役割を追究していく。そのために、本大会では今一度原点に立ち返り、ミッション・ビジョンの実現に貢献する学校事務の在り方について会員全体で考えを深め、事務をつかさどる事務職員・共同学校事務室の姿を共有する機会とする。
- 3 主催・主管 全国公立小中学校事務職員研究会
- 4 後 援 文部科学省  
全国都道府県教育長協議会 指定都市教育委員会協議会  
全国市町村教育委員会連合会 全国都市教育長協議会  
全国町村教育長会 全国連合小学校長会  
全日本中学校長会 公益社団法人日本PTA全国協議会  
公益財団法人日本教育公務員弘済会  
一般財団法人教職員生涯福祉財団

- 5 期 日 令和6年8月9日（金）
- 6 会 場 埼玉会館大ホール  
（埼玉県さいたま市浦和区高砂3-1-4）
- 7 日 程 9：30～ 受付開始  
10：00～10：45 開会式、大会オリエンテーション  
10：45～11：45 文部科学省行政説明  
11：45～13：00 休憩  
13：00～14：45 全体研究会Ⅰ本部研究発表  
14：45～15：00 休憩  
15：00～16：30 全体研究会Ⅱシンポジウム  
「これからの学校の在り方、学校  
事務、事務職員について」（仮）  
16：30～16：50 閉会式、引継式
- 8 参 加 者 公立小・中・義務教育・中等教育・特別支援学校  
事務職員  
その他学校事務担当職員  
教育委員会事務局職員及び教育関係者等
- 9 実 施 方 法 参集及びライブ配信
- 10 参 加 定 員 1,200名（参集の定員、ライブ配信については特に  
定員は設けません）
- 11 参 加 費 2,500円（参集、ライブ配信とも同額）
- 12 申 込 方 法 Peatixによる申込
- 13 そ の 他 昼食、宿泊の斡旋は行いません。

# 第56回全国公立小中学校事務研究大会（本部主管） 研究概要

## 1 大会テーマとそのねらい

### 大会テーマ「子どもの豊かな育ちを支援する学校事務」

現在、社会は大きな転換点を迎えています。ICTをはじめとする技術の進歩やグローバル化の進展、互いを認め、個性を尊重するというように意識も変化しています。様々な要因が、生活スタイルや働き方、さらには人との関わり方に大きな影響を及ぼしています。そのようななかで、子ども自身が変化していく社会を自らの力で切り拓いていくため、子どもの学びの在り方も個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図っていくことが必要です。

このような社会の流れや学校の在り方の変化を踏まえ、あらためて子ども自らが主体的に学び、多様な主体がその学びにかかわることで子どもの豊かな育ちを実現する地域とともにある学校・学校事務の在り方を共有するため、大会テーマを「子どもの豊かな育ちを支援する学校事務」としました。

第10次研究中期計画では、年次別課題として学校の抱える課題を提示し、その課題を解決するための学校事務の在り方や事務職員・共同学校事務室の役割を追究していきます。様々な要因からなる課題に対し、事務職員は教育行政職員として専門性を発揮して校務運営に参画し、学校のマネジメントを推進していくことが必要であると考えます。そしてそれらの課題を解決した先には子どもの豊かな育ちがひろがると思えます。

本大会では第10次研究中期計画の初年度として、第9次研究中期計画の総括と、第10次研究中期計画の共有により全事研の研究の方向性を示します。さらに大会全体を通して子どもの豊かな育ちを支援する学校事務の在り方について、共に考えたり、理解を深めたりすることにより、事務職員の実践の質を高めることを目指します。

## 2 全体研究会Ⅰ

テーマ「子どもの豊かな育ちを支援する学校事務」

全体研究会Ⅰでは、全事研研究開発部による本部研究の提案と討議を行います。そのことによって目指す事務職員像として「事務をつかさどり、校務運営に参画する事務職員の姿」を共有します。

平成29年3月の学校教育法の改正により事務職員の職務が事務をつかさどるとなり、主体的・積極的に校務運営へ参画することが求められています。しかしながら、本会の調査からは未だこの役割を果たすことができていない現状が明らかになっています。その理由について、役割を十分に自覚していないことと自覚していても実際に行動できていないことにあると考察しました。そのため、全体研究会Ⅰでは実践事例を通して必要な要素や仕組みを明らかにし、役割を自覚し行動へと移すための具体的な手立てについて提案します。提案後の討議では、意見交換により更なる気付きやヒントを得ることで事務をつかさどり、校務運営に参画する職務を果たし、実践の質を高めていくことを目指します。

## 3 全体研究会Ⅱ

テーマ「子どもの豊かな育ちを支援する事務職員」

シンポジスト 埼玉県戸田市教育委員会

教育長 戸ヶ崎 勤 氏

愛知教育大学教育科学系教育ガバナンス講座 教授 風岡 治 氏

全体研究会Ⅱでは、大会のまとめとしてシンポジウムを行います。戸ヶ崎教育長からは、教育改革を推し進めている観点からこれからの学校の在り方についてお話しいただくとともに、教育行政を担う教育長という立場からも事務職員に期待する役割について御発言いただきます。風岡教授からは、研究者という専門的視点とともに現場での事務職員の経験を踏まえ、これからの学校に求められる学校事務機能と事務職員の果たす役割の可能性について御発言をいただきます。先生方の御発言からこれからの学校事務の在り方や事務職員の役割について理解を深める機会とし、事務職員の未来を展望します。

# 第56回全国公立小中学校事務研究大会（本部主管） 研究概要

## 1 大会テーマとそのねらい

### 大会テーマ「子どもの豊かな育ちを支援する学校事務」

現在、社会は大きな転換点を迎えています。ICTをはじめとする技術の進歩やグローバル化の進展、互いを認め、個性を尊重するというように意識も変化しています。様々な要因が、生活スタイルや働き方、さらには人との関わり方に大きな影響を及ぼしています。そのようななかで、子ども自身が変化していく社会を自らの力で切り拓いていくため、子どもの学びの在り方も個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図っていくことが必要です。

このような社会の流れや学校の在り方の変化を踏まえ、あらためて子ども自らが主体的に学び、多様な主体がその学びにかかわることで子どもの豊かな育ちを実現する地域とともにある学校・学校事務の在り方を共有するため、大会テーマを「子どもの豊かな育ちを支援する学校事務」としました。

第10次研究中期計画では、年次別課題として学校の抱える課題を提示し、その課題を解決するための学校事務の在り方や事務職員・共同学校事務室の役割を追究していきます。様々な要因からなる課題に対し、事務職員は教育行政職員として専門性を発揮して校務運営に参画し、学校のマネジメントを推進していくことが必要であると考えます。そしてそれらの課題を解決した先には子どもの豊かな育ちがひろがると思えます。

本大会では第10次研究中期計画の初年度として、第9次研究中期計画の総括と、第10次研究中期計画の共有により全事研の研究の方向性を示します。さらに大会全体を通して子どもの豊かな育ちを支援する学校事務の在り方について、共に考えたり、理解を深めたりすることにより、事務職員の実践の質を高めることを目指します。

## 2 全体研究会Ⅰ

テーマ「子どもの豊かな育ちを支援する学校事務」

全体研究会Ⅰでは、全事研研究開発部による本部研究の提案と討議を行います。そのことによって目指す事務職員像として「事務をつかさどり、校務運営に参画する事務職員の姿」を共有します。

平成29年3月の学校教育法の改正により事務職員の職務が事務をつかさどるとなり、主体的・積極的に校務運営へ参画することが求められています。しかしながら、本会の調査からは未だこの役割を果たすことができていない現状が明らかになっています。その理由について、役割を十分に自覚していないことと自覚していても実際に行動できていないことにあると考察しました。そのため、全体研究会Ⅰでは実践事例を通して必要な要素や仕組みを明らかにし、役割を自覚し行動へと移すための具体的な手立てについて提案します。提案後の討議では、意見交換により更なる気付きやヒントを得ることで事務をつかさどり、校務運営に参画する職務を果たし、実践の質を高めていくことを目指します。

## 3 全体研究会Ⅱ

テーマ「子どもの豊かな育ちを支援する事務職員」

シンポジスト 埼玉県戸田市教育委員会

教育長 戸ヶ崎 勤 氏

愛知教育大学教育科学系教育ガバナンス講座 教授 風岡 治 氏

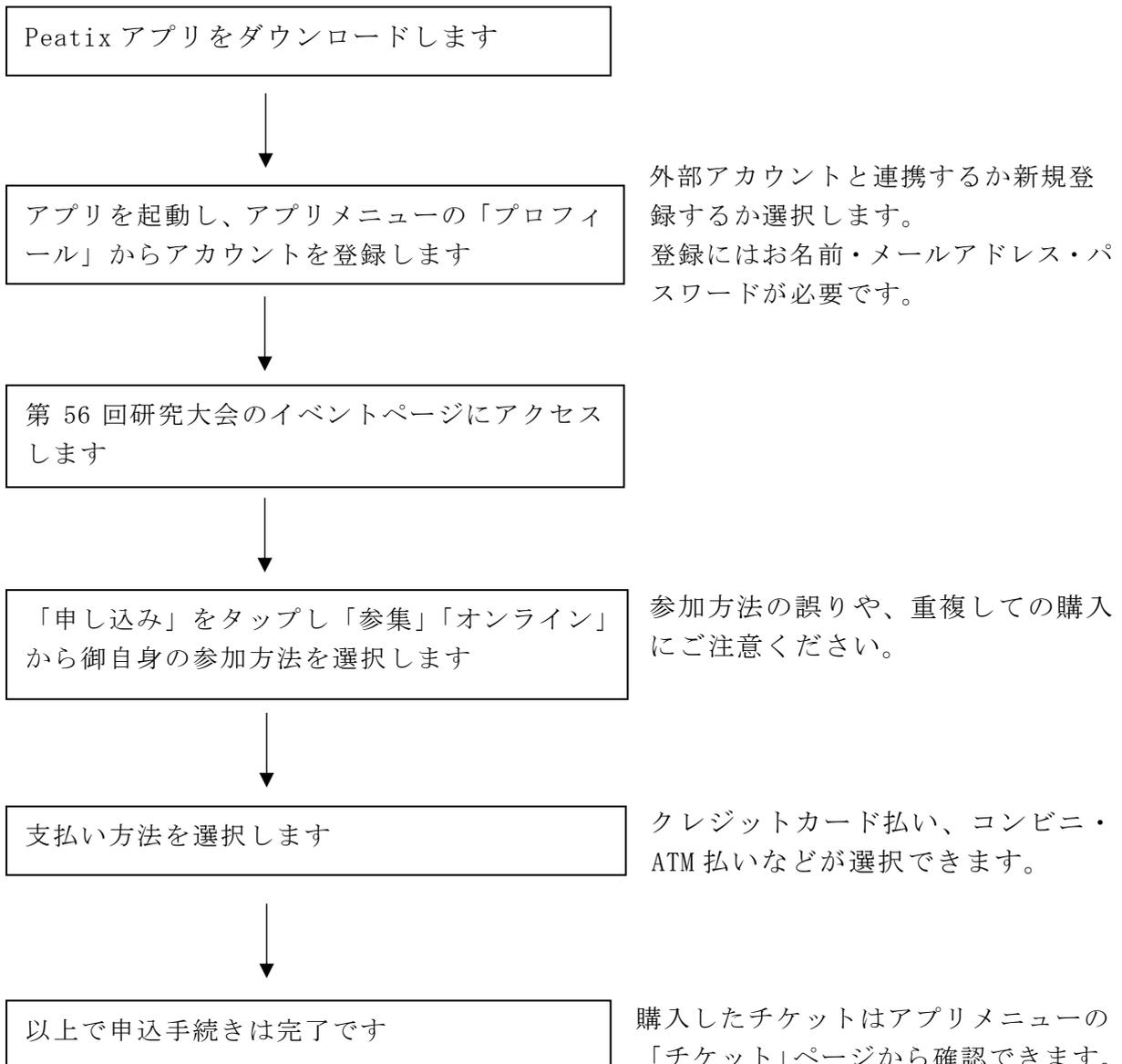
全体研究会Ⅱでは、大会のまとめとしてシンポジウムを行います。戸ヶ崎教育長からは、教育改革を推し進めている観点からこれからの学校の在り方についてお話しいただくとともに、教育行政を担う教育長という立場からも事務職員に期待する役割について御発言いただきます。風岡教授からは、研究者という専門的視点とともに現場での事務職員の経験を踏まえ、これからの学校に求められる学校事務機能と事務職員の果たす役割の可能性について御発言をいただきます。先生方の御発言からこれからの学校事務の在り方や事務職員の役割について理解を深める機会とし、事務職員の未来を展望します。

# 第56回全国公立小中学校事務研究大会（本部主管） 申込み及び参加費納入等について

本大会の参加申込み及び参加費納入につきましては「Peatix」を利用しますので、下記の説明を参考に、手続きをお願いいたします。

- 1 申込期間 令和6年6月10日（月）～7月26日（金）  
（現地参集につきましては、定員1,200人で募集停止となります。）

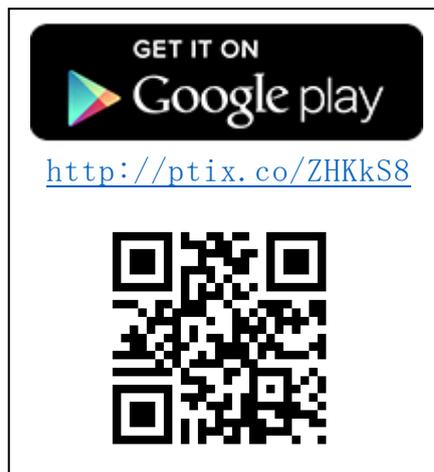
## 2 申込方法



## (1) 「Peatix」アプリのダウンロードと「Peatix」アカウントの登録

### ダウンロードする方法

まずは該当するデバイスのアプリを、二次元バーコードを読み取りダウンロードしてください。

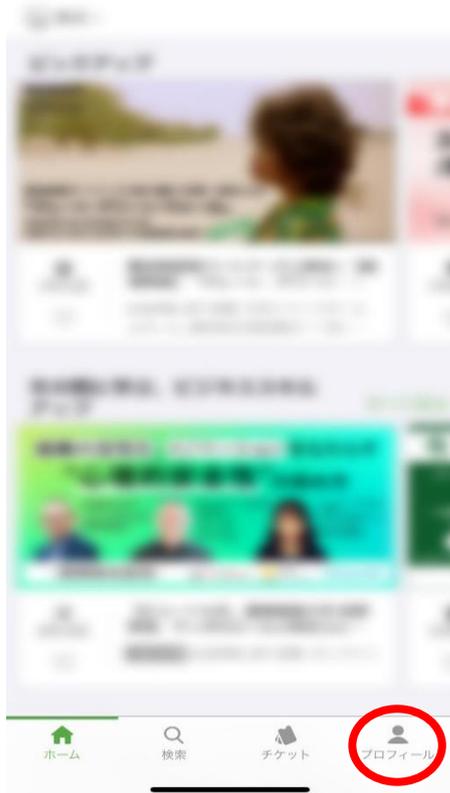


\*下のロゴのアプリです。



### 登録する方法

インストール後に起動し、アプリメニューの「プロフィール」から新規登録をします。外部アカウントを利用するか、御自身が利用されているメールアドレスで登録をします。名前・メールアドレス・パスワードが必要です。



## (2) 「Peatix」で参加チケットの購入

### チケットを購入する方法

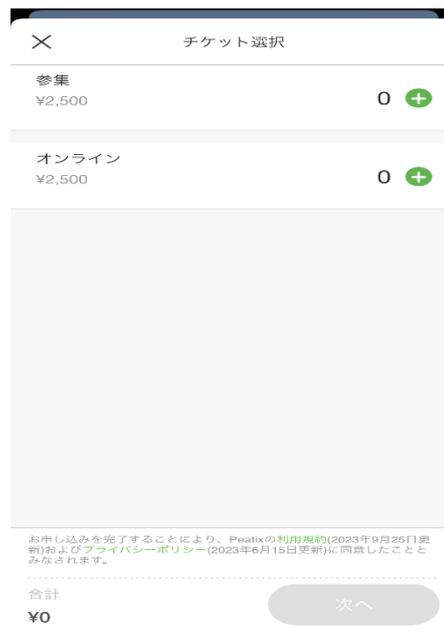


- ① 以下の URL にアクセスするか二次元バーコードを読み取り、イベントページの内容を確認します。

<https://peatix.com/event/3958571/view>

- ② イベントページから「参加チケット」の購入をします。「参集」「オンライン」のどちらかを選択し購入してください。

\* どちらも購入できてしまいますので、必ず、御自身の参加方法を選択してください。



- ③ 購入したチケットは、アプリメニューの「チケット」ページから確認することができます。

\* 重複して購入をしないように、お気を付けください。

チケット



### 3. 研究集録について

全事研 Web の大会専用ルームからダウンロードし、当日お手元に御準備ください。紙媒体での配布はありません。

7月下旬に、参加チケット購入者へ大会専用ルームの URL 及びログイン方法を御案内します。

### 4. イベント当日の対応

#### オンラインの場合

YouTube によるライブ配信を予定しています。オンライン参加者には後日、視聴 URL を御案内しますので、そちらから御参加ください。

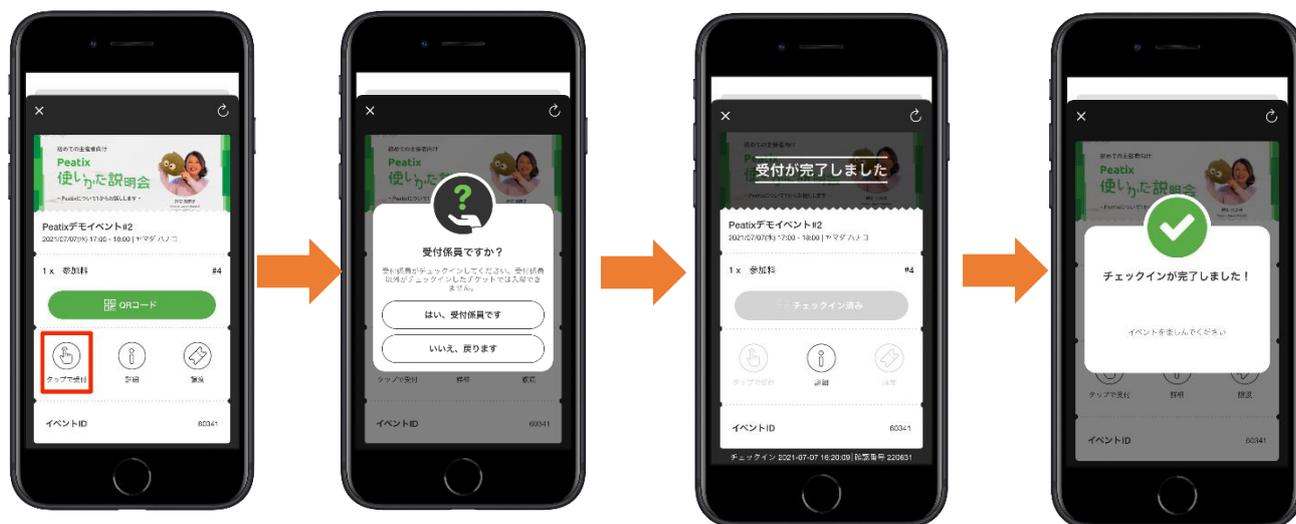
\* 視聴 URL をオンライン受講者以外に公開しないように注意してください。

#### 参集の場合（タップ）

スマートフォン等を以下のように事前に操作して入場ください。

\* 受付スタッフへの画面の提示は不要です。

**第 56 回研究大会では「タップで受付」を利用します。**



**『はい、受付係員です』をタップし入場してください。**

## ●よくある御質問

### Q. 領収書は発行できますか？

A. パソコン等の端末のブラウザでログインいただくと「領収データ」を確認できます。  
(Peatix アプリからはアクセスできません)

領収データに記載される内容は、発行日、宛名（編集可）、金額、但し書き（編集可）、主催者名、イベント名です。

### Q. 誤って複数枚チケットを購入してしまった。

A. コンビニ・ATM 払いの場合、お支払いせずにお待ちいただければ、自動的にキャンセルとなります。コンビニ、ATM 払いで既にお支払い済みの場合、及びクレジットカード、Paypal でお支払いの場合は、主催者側でキャンセルの手続きが必要になるので、下記の問い合わせ先まで御連絡ください。返金額は、クレジットカード、Paypal によりお支払いいただいた場合には、支払いから 50 日未満であれば手数料の負担なく返金となります。コンビニ、ATM 払いの場合は、340 円の手数料を差し引いた額が返金となります。  
(欠席等によるキャンセル対応は致しかねますので御了承ください)

### Q. インターネット環境や校務用 PC のセキュリティの関係で手続きができない。どうしたらよいですか？

A. 近隣の学校の参加者に登録してもらい、費用は当事者同士でやりとりしていただくなどの対応をお願いします。

### Q. 大会当日にアプリの操作や通信がうまくいかない場合はどうしたらよいですか？

A. 不測の事態が発生した場合には受付で対応しますので、会場受付までお申し出ください。

#### \*各種お問い合わせについて\*

○第 56 回大会に関するお問い合わせは、下記のメールアドレスまでお願いします。

全事研事務局長 大熊 康之 Mail : [seminar@zenjiken.jp](mailto:seminar@zenjiken.jp)

○Peatix の操作に関する不明点等はイベント参加者向けヘルプページ等を御参照ください。

(ヘルプ) <https://help-attendee.peatix.com/ja-JP/support/home>